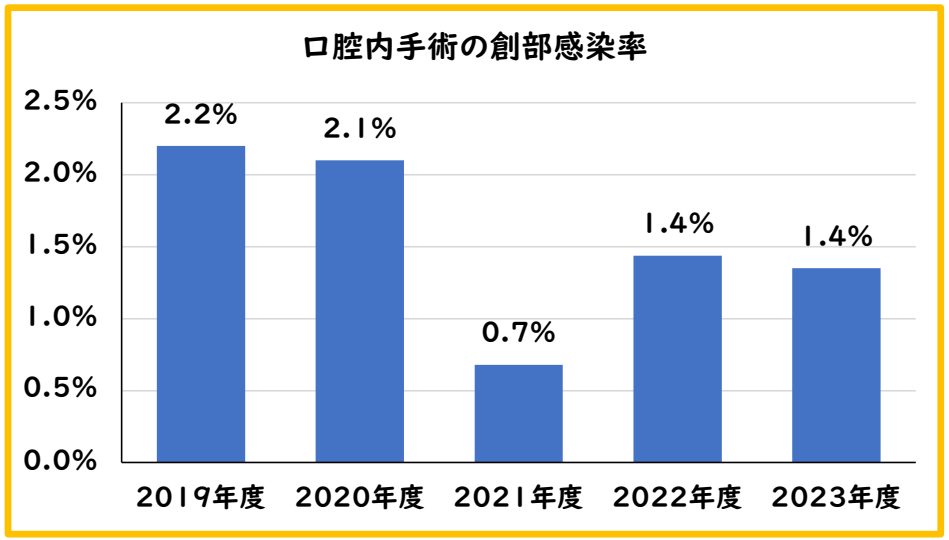
27　口腔内手術の創部感染率

歯科口腔外科

◆解説◆

創部感染は手術および術後管理中に発生し治療の成否や入院期間の延長につながる可能性のある合併症です。
入院中の患者の創部感染率を下げることは、より安定した治療成績と入院期間の短縮に寄与すると考えます。

◆当院の実績◆



◆自己点検評価◆

2021年度、2022年度、2023年度の全手術数における排膿を伴い外科的介入を必要とした術後創部感染患者の割合はそれぞれ0.7%、1.4%、1.4%でした。

昨年と大きな違いはありませんが、手術症例に占める顎骨壊死を含む炎症性疾患の増加があったことを考慮すると良好な結果であったと考えられます。

◆定義◆

歯科口腔外科の全手術数（入院全麻手術症例）における創部感染患者(排膿を伴い外科的介入を必要とした症例)の割合